

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A579A/J	Rev.	第1版
題名	DMATCR_n レジスタリロード後の HE フラグ動作不良について		情報分類	技術情報	
適用製品	R5S72060W200FPV	対象ロット等	関連資料	SH7206 グループ ハードウェアマニュアル (RJ09B0183-0200 Rev.2.00)	
	R5E72060W200FPV	全ロット			

SH2A の上記製品において、DMAC でリロード機能によって RDMATCR_n (n=0~7) レジスタ値の DMATCR_n レジスタへのリロード動作を行なうと、以降の DMA 転送における CHCR_n レジスタのハーフエンドフラグ (HE) のセット動作およびハーフエンド割り込みについて、ご使用上の注意事項がございます。ご理解、ご了承いただきたくお願いいたします。

1. 不具合現象

DMAC のリロード機能を用いて DMA 転送を行なう場合、DMA リロードトランスファカウントレジスタ (RDMATCR_n) に、転送開始時に設定した DMA トランスファカウントレジスタ (DMATCR_n) の値と異なる値を設定すると、DMA チャネルコントロールレジスタ (CHCR_n) のハーフエンドフラグ (HE) の動作が不正になります。

リロード動作によって DMATCRn の値が書き換えられても、ハーフエンドフラグのセットは転送開始時に設定されていた値にもとづいて行われてしまうため、ハーフエンドフラグのセットタイミングがずれる、あるいはハーフエンドフラグがセットされないといった現象が発生します。

2. 制限事項

RDMATCR_n に DMATCR_n と異なる値を設定した状態で、リロード機能を用いた DMA 転送を行なう場合には、ハーフエンドフラグおよびハーフエンド割り込みを使用しないでください。

以上